



探究ニュース Access No. 45

発行日 令和7年12月17日

目次

I

50期 探究A 論文作成と成果発表

II

49期 探究C ゼミ活動

III

各種活動報告

I 50期 探究A 論文作成と成果発表

1年生は、この夏休みに、各自で進めた探究活動の成果を論文にまとめました。7月に「論文の書き方講座」で学んだ基本に従って、論文を書いたものの、上限の4枚を必要とするほど充実した内容のものを書き上げることはなかなか難しかったようです。また、9月1日、22日の成果発表では、3人でグループを作り、グループ内で発表を行いました。探究Aの活動は、二年生の探究Cの練習のような位置づけになります。探究Cでは再度個人研究を行いますが、今回の学びを生かした充実した探究活動ができる期待しています。



II 49期 探究C ゼミ活動

2年生は、自分の興味のあるゼミに所属し、個人探究を進めています。調査や観察実験などの活動は、主に放課後や休日などを活用しますが、週1回のゼミの時間は、共通の課題に取り組んだり、ゼミのメンバーやティーチングアシスタント(大学生・大学院生)から各自の活動に対してアドバイスを受けるなど貴重な時間になっています。二学期の活動は、主に論文作成でした。下記に今年度のゼミを紹介します。

【ゼミ紹介】今年度の探究Cは、16のゼミに分かれて活動をしています。各ゼミの特徴を簡単に紹介します。

※①はゼミ紹介 ②はテーマ例になります。

現代文化(諸芸・娯楽・文学)

①こんにちは!現代文化ゼミです。僕たちのゼミは各々が本当に興味があることについて探究しています。その中でもゼミとしての探究の方向性は「アニメ」、「小説」などのサブカルチャーについての探究テーマが多いです。ぜひ少しでも興味がある方、とにかくゼミの雰囲気を知りたい方どなたでも大歓迎ですのでお越しください!

②「BMSGのオーディションプログラムにおけるSNS戦略は、視聴者の共感を生んだことで成功したか」、「ゲームシナリオにおいてプレイヤーの心をひきつけるのはなにか」

歴史・政治学・経済学

①こんにちは!歴史・政治学・経済学ゼミです!私たちのゼミは、「皇位継承問題」や「キャッシュレス決済」など、昨今日の課題となっている大きなテーマから、「購買の売上」など私たちだからこそ考えられる身近なテーマまで、様々な問い合わせを持つ人が集まって構成されています!ぜひ来てください~!

②「皇位継承問題はどのようにして解決されるべきか」、「音楽アーティストがより多くの収益を受け取るにはどのようにすれば良いか」

【ゼミ紹介(つづき】 ※①はゼミ紹介 ②はテーマ例になります。

教育・社会学

①教育学と社会学について探究しています。普段の学校生活や人間関係で気になるようなことをテーマにしている人が多く、どちらかと言うと抽象的な問いをいかに論理的な手法に落とし込みどう結論を出すのか、というところがこのゼミの最大の魅力です！ 探究が好きな人も難しくて困っている人も楽しめると思います。

②「授業において個別最適な学習をより行いやすくするためにはどうしたら良いか。」、「若者が積極的に政治参加する社会を作るためにはどのような取り組みをするべきか。」

スポーツ

①私たちスポーツゼミでは、主に運動系の部活動や趣味の活動の際に役立つテーマを扱って探究を行っています。それぞれが専門とするスポーツについての探究となるため、実生活に役立たせやすい探究が行えることがスポーツゼミの特色です。ゼミメンバーのほぼ全員が運動部に所属しており、部活を超えた交流が行えることも魅力の一つです。

②「スパイクの打点を上げるにはどうすれば良いか」、「点が決まりやすいコースはどこか」など

体育

①体育ゼミは13人が所属しており、自分の興味のあるスポーツや運動について、探究的に調査・実験などの活動を行います（スポーツゼミとの差異はない）。自分が所属する部活動の競技だけでなく、トレーニング法やストレッチなど、内面的な探究活動をしている人もいます。

②「運動神経の治し方」、「カフェインと運動パフォーマンスの関係」

化学・薬学・環境科学+産業（農林水産・運輸通信）

①身のまわりの物質や薬、環境について科学的に探究します。実験やアンケートなど多様な方法で研究をして「なぜ？」を解き明かします。仲間と協力しながら、科学を通して社会や暮らしを深く見つめます。

②「やもりの体の構造」、「地震対策にはどのようなことが大切か」

技術・工学+自然科学（物理・地学・数学・情報）①

①身近な疑問から専門的なテーマまで、科学的手法を用いて探究しています。物理法則の検証、地学現象の観測、数学的モデリング、情報技術の応用など、各自が設定した課題に取り組んできた成果を発表します。探究の過程では生成AIも活用し、データ分析や考察を深めました。もちろん、この文も生成AIで作成しました。

②「対話型AIを上手く活用した勉強法とは」、「より入手しやすい素材でペアリングを作れるのか」

技術・工学+自然科学（物理・地学・数学・情報）②

①私たちのゼミには、地球、宇宙、産業、最新技術、、などなど、主に理系の探究をする人が集まっています！ その分野は多岐にわたっているのが特徴です。日常生活に結びつくテーマ、面白いテーマがたくさんあります！ あなたの生活の周囲にある自然や技術がちょっと面白く見えてくるかも??

②「火星移住は実現可能だろうか」、「くしゃみて発電することはできるのか？」

生物

①生物ゼミでは、生物にかかわる探究を実験や、文献調査などを通して、行っています。特に実験では、標本づくりなど、専門的な実験も行われています。主に、ネズミや、魚、植物、菌類や昆虫自体のことを調べたり、生物と人々のかかわりなどを調べるなどの活動をしています。興味を持った人は、ぜひ発表を聞きに来てください！

②「珪藻と川の流れの関係」

心理①

①私たちは「心理」に関する各自の疑問をもとに探究を進めています。行動の理由や社会とのつながりによる心理変化など、身近なテーマを設定し、文献調査やアンケート調査を通して考察を深めているゼミです。真面目に進めつつ、近くの友達と意見を深め合い、楽しく探究しています！

②「スマホ利用に関して自制心を効果的に働かせる環境とは何か」、「ダンスが人に及ぼす精神変化とはなんだろうか。」

【ゼミ紹介(つづき】 ※①ゼミ紹介 ②テーマ例になります。

医学

①医療ゼミという名を聞くと硬派なイメージをもつ方が多いと思います。しかし!!! 身近な睡眠や料理、AIから免疫や地域医療まで幅広いテーマがあります! 文献調査、実験や研修まで医療ゼミならではの多岐に渡る探究手法を用いているため、探究に困ってる人もそうでない人も参考になると思います!! 是非、医療ゼミにお越しください!

②「高齢化が進む日本の地域医療において必要な医療人材とはどのようなものだろうか。」、「夕食と睡眠の質にはどのような関係があるのだろうか。」

社会学

①社会学ゼミは、「自分が気になった社会のモヤモヤ」を言語化して深堀りするゼミです。教科書よりもリアルな内容を取り上げて、深掘りします。AIやフェミニズム、移民、食品ロス等々…テーマは自由で、自分の思考で社会にぶつかって行くという面白さがあります。考えるのが好きな方や、興味のある方は是非お越しください!

②「フェミニストのイメージを良くするには」、「エスカレーターで歩く文化をなくすには階移動の設備をどのようにすればいいか。」

哲学+芸術・美術

①哲学・芸術ゼミでは、それぞれが気になったこと、興味のあるものについて、探究しています。哲学や芸術は非常に奥が深く探究のしがいが一番あるゼミだと思います。やりがいはありますが、哲学・芸術はとても考えにくく、難しかったです。そんな中でもゼミのメンバー全員が頑張って探究したので、是非見に来てください。

②「『存在する』とはどういうことか。」

心理②

①心理②のゼミでは、日常に潜んでいる事柄について人間の心理的な側面からアプローチをし、探究します。それぞれが日常の中で気になったことや追い求めたいことについて自由に探究活動をしているので心理的側面からの探究ではあるものの全く異なったものを見ることができると思います。

②「図太く生きるmind」

言語

①言語ゼミの探究の幅はとても広く、外国語や古文、方言だけでなく、広告や映画の字幕、文字の語順、コミュニケーションなど様々な内容の探究を行っています。言語は普段使うものなので言語に興味のある人もそうでない人も一度探究の内容を聞いてみると面白いと感じると思います。5階の5ホール準備室という小さな部屋で活動しているのでぜひ来てみてください!

②「翻訳技術が発達しても外国語を習得する必要はあるのか」、「入れ替わった文字を見てももとの文字を認識できるのはなぜか」

III 各種活動報告

本校の探究的な活動は、探究A～Cの活動に留まらず、さまざまな活動が行われています。今回は、そのうちの幾つかを活動報告として紹介します。

① JAXA 及び Waisports ジャパン訪問

今年度の筑波研修ツアーより、7月28日に実施されました。参加生徒26名は、まずJAXA筑波宇宙センターを訪問し、宇宙飛行士養成エリアや「きぼう」運用管制室の見学などを行いました。飛行士養成の訓練設備の説明を受け、極限環境で任務を遂行するために、宇宙飛行士には高い忍耐力や協調性、コミュニケーション力が求められていることがよく分かりました。午後からは、筑波大学に移動し、筑波大学発のベンチャー「(株) Waisports ジャパン」の代表取締である松田裕雄准教授のお話を伺いました。地域の活性化を図るために先生方が取り組んできたスポーツを通じた活動を紹介して頂きました。松田先生はとても活力に溢れた方であり、先生との問答を通して生徒は自己を見つめ直されたのではないでしょうか。



②福島研修

「福島の震災・原発事故と復興」をテーマに、1年間の教科横断的な学びのプログラムを日比谷高校と合同に企画し、実施しています。このプログラムに、日比谷高校から22名、本校から7名の生徒が参加しています。夏休みには、2泊3日で現地を訪問し、第一原発や東京電力廃炉資料館、請戸小学校（震災遺構）、東日本震災伝承館などをめぐり、色々な立場の人から話を伺ってきました。現地での研修の他に、事前・事後の研修を通して、福島の被災と復興を自分事として捉え、研修に参加した仲間と「復興」に関して真剣に話し合ってきました。12月には、環境省に出向いて自分たちが考えた提言案を発表することになっています。



②TOKYOサイエンスフェア 科学の甲子園への挑戦と研究発表

東京都は、科学教育に関する様々な取り組みを行っています。その一環として、TOKYOサイエンスフェアを開催し、「科学の甲子園」の東京予選が立川高校で、探究発表会が幕張メッセで行われました。科学の甲子園は、物・化・生・地・数・情の6分野の筆記試験と与えられたテーマでの工作実技競技により科学力を高校対抗で競う大会です。本校からは、自然科学部の6名が代表として参加しました。事前に与えられたテーマに対して、放課後に工作を行い準備と練習を繰り返してきたのですが、本番はまさかの0点！総合成績も惨敗でした。ちなみに、総合成績1位は日比谷高校で、3月の全国大会の東京代表となっています。来年度の活躍を期待します。

東京ビッグサイトで開催された研究発表では、50校73件のポスター発表がありました。本校からは、2年生の鈴木君が参加し、「保存方法別の野菜の保存可能期間」というテーマで行ってきた研究の発表を行いました。他校の生徒や教員から質問や助言を受けたり、他の生徒の発表を聞いたりしたことは、さらに自分の研究を深めていく上でよい刺激となった
と思いま
す。

